

Lecture5

Date & Place: 2009 August 31st, Dja Reserve

Title of lecture: 「カメルーン東部州の熱帯雨林の保全と生態資源の利用（1）」

Lecturers: 市川光雄・木村大治（京都大学）、Dr. J. L. Betti（ドゥアラ大学）、

Mr. F. Evariste（ヤウンデ第一大学）

Summary:

カメルーン東部州の熱帯雨林の保全と生態資源の利用について、ジャー・リザーブにおいて演習をおこなった。ジャー・リザーブに入る前に、この地域の熱帯雨林を管理している Ecofac 事務所手前の村から徒歩 15 分ほど森のなかにはいった場所で、ピグミーの人びとによる歓迎の踊りと歌を披露してもらった。（写真1）この場所は、定着したピグミーの人びとが、儀礼をおこなう場所として利用していた。踊りは主に男性が、歌は主に女性が担当していた。わたしたちがかえったあと、ピグミーの人びとも定住村にもどって洋服に着替えていたとのことで、ある程度観光化された踊り・歌のように思われた。また、森のなかを歩く際に、ラタン製のカゴやラフィアの葉を家の建材として準備しているところなどを見聞した。（写真2）



写真1



写真2



写真3